

議案第105号

狭山市特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

第1条 狭山市特別職職員の給与及び旅費に関する条例（昭和45年条例第4号）の一部を次のように改正する。

第5条第2項中「100分の217.5」を「100分の222.5」に改める。

第2条 狭山市特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部を次のように改正する。

第5条第2項中「、6月に支給する場合には100分の202.5、12月に支給する場合には100分の222.5」を「100分の212.5」に改める。

附 則

- 1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 第1条の規定による改正後の狭山市特別職職員の給与及び旅費に関する条例（以下「改正後の条例」という。）第5条第2項の規定は、令和元年12月1日から適用する。
- 3 改正後の条例第5条第2項の規定を適用する場合には、第1条の規定による改正前の狭山市特別職職員の給与及び旅費に関する条例第5条第2項の規定に基づいて支給された期末手当は、改正後の条例第5条第2項の規定による期末手当の内払とみなす。

令和元年12月17日提出

狭山市長 小谷野 剛

提案理由

市長、副市長及び教育委員会教育長の期末手当の支給割合を改定したいので、この案を提出するものである。